

2017年9月

## 松山理事長が「ACTE 東京カンファレンス」にてスピーチをしました

ビジネス旅行業界の発展をバックアップする非営利団体 ACTE (Association of Corporate Travel Executives) が主催する「ACTE カンファレンス」は、グローバル企業、ホテル、エアライン担当者などが一同に会し、ビジネス・トラベル・マネジメント (BTM) について学び合うほか、会員間のネットワーキング、会員とサプライヤーサイドの交流・商談などを行う会議で、8月22日(火)～23日(水)の2日間、ザ・プリンスパークタワー東京にて開催されました。日本では初の開催であり、参加者約500名、そのうち海外からは約250名が参加いたしました。

松山理事長はオープニングスピーチを行い、インバウンドが経済成長の中心柱になっていること、2020年の訪日外客数の4,000万人、及び2030年の6,000万人と訪日外国人旅行消費額15兆円達成のために、空港・ホテル・国際会議場建設などのインフラ投資、ラグビーワールドカップ2019と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功、Wi-Fiスポット設置やボランティア活動等強化など観光環境の改善に注力していると紹介しました。



スピーチを行う松山理事長



会場の様子